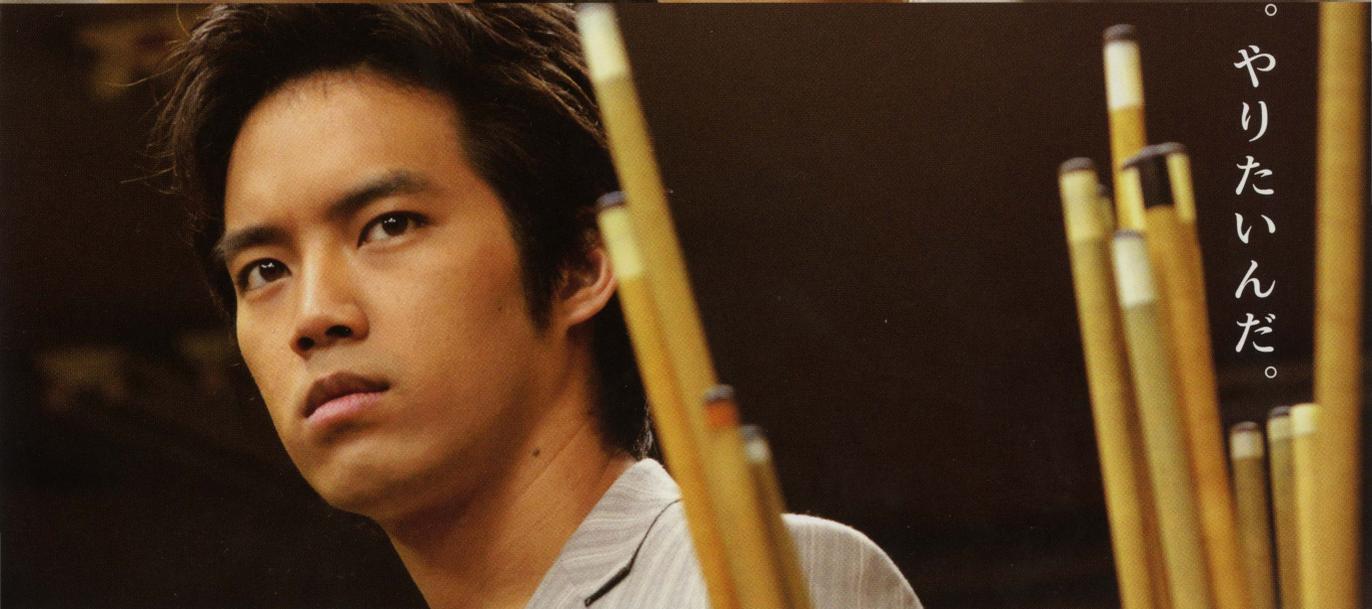




最後になってもいい。やりたいたんだ。



キッズ・リターン 再会の時

平岡祐太 三浦貴大
倉科カナ 中尾明慶 市川しんぺー 小倉久寛
池内博之 杉本哲太 ベンガル

監督:清水 浩
原案:ビートたけし 脚本:益子昌一 清水 浩 音楽:遠藤浩二
撮影:鍋島淳裕 照明:三重野聖一郎 美術:尾関龍生 録音:久連石由文 編集:太田義則 助監督:吉田 亮 キャスティング:吉川威史
衣裳:森口誠治 メイク:宮内三代 ボクシング指導:梅津正彦 音響効果:柴崎憲治 製作担当:齋藤悠二
エグゼクティブ・プロデューサー:森 昌行 プロデューサー:加倉井誠人 ライン・プロデューサー:小宮慎二 アソシエイト・プロデューサー:川城和実 井澤昌平 太田和宏 吉田多喜男
製作:バンダイビジュアル テレビ東京 東京テアトル/オフィス北野 宣伝協力:BS日本映画専門チャンネル
配給:東京テアトル/オフィス北野 東京テアトル株式会社  kidsreturn-saikai.com © 2013 「キッズ・リターン 再会の時」製作委員会 



10.12



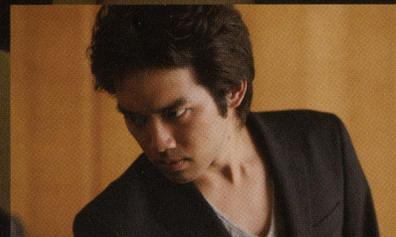
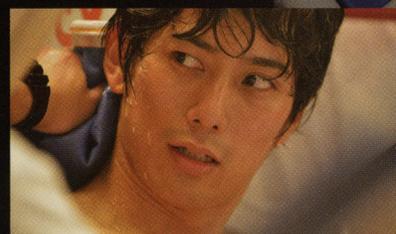
友情と決意。 這い上がる男たちの姿に胸が熱くなる。

10年ぶりに再会——落ちこぼれのシンジとマサル。

落ちこぼれの同級生シンジとマサルは、高校生活が終わるとシンジはボクシング、マサルはヤクザの道を選んだ。その道の頂点を目指し、別々の世界に飛び込んだふたりだったが、世の中は甘くなく、理想と現実のギャップ、越えられない壁にぶつかり挫折——。

会うこともなく10年が過ぎ、ふたりはうだつの上がない生活を送っていた。シンジはボクシングに以前のような情熱を傾けられず、ジムも辞めて何となくアルバイトをこなす日々。刑務所から出所したばかりのマサルは、ヤクザに戻るしかなかった。しかしふたりが、ふとした偶然から再会を果たした時、互いのくすぶっていた心に火がついた。「見返してやろうぜ！」マサルの言葉を胸に、再びリングに上がるシンジ。一方のマサルも、自らの人生をかけたある勝負に出ようとしていた。傷だらけのふたりに、道は開けるのか——。

監督：清水 浩 × 原案：ビートたけし × 主演：平岡祐太、三浦貴大



本作は、映画史上に残る名作として、今なお愛され続けている『キッズ・リターン』のその後の物語。原案は、ビートたけし。監督は、『キッズ・リターン』の助監督をつとめ、確かな演出力で国際的にも評価が高い清水浩。そして、シンジ役に平岡祐太、マサル役には三浦貴大と、着実にキャリアを積み上げてきた若手実力派が顔を揃え、これまでのイメージを覆すキャラクターにチャレンジ。本格的トレーニングに励み、吹替なしで挑んだ平岡祐太の鍛え上げられた肉体、凄まじいボクシングシーンも必見だ。その他、倉科カナがシンジを温かく見守るヒロインに、中尾明慶が威勢の良いマサルの手下に扮し、小倉久寛、市川しんぺー、池内博之、杉本哲太、ベンガルら日本映画界に欠かせない演技派がしっかりと脇を固める。

今、ふたりは魂の攻勢に打って出る！

現実とは厳しく、残酷だ。それでも“何か”を探して、もがきながら生きていく。言葉にはできない男の友情と人生の痛みを背負い、シンジとマサルは突き進む。打たれても、打たれても、這い上がろうとする男たちの姿に、誰もが胸を熱くせずにはいられない。彼らの物語はまだ、終わってはいない。今、ふたりは魂の攻勢に打って出る！

kidsreturn-saikai.com



10/12(土)
全国ロードショー！

全国共通特別鑑賞券 一般 ¥1,300 (税込) 発売中！
(当日一般 ¥1,800 (税込) のところ) ※一部劇場除く

【東京】
新宿駅東口 伊勢丹メンズ館隣 B1F
テアトル新宿
03 (3352) 1846

渋谷明治通り・宮下公園交差点前 ココビル8F
ヒューマントラストシネマ渋谷
03 (5468) 5551

【大阪】
梅田芸術劇場斜め前・梅田ロフトB1
テアトル梅田
06 (6359) 1080

【兵庫】
大丸東側 神戸朝日ビルディングB1F
シネ・リーブル神戸
078 (334) 2126

テアトルシネマグループ www.ttcg.jp